

授業改善等に関する報告書（2019年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
フランス語 1 b	藤井 陽子	この授業の目的は、フランス語の日常会話で用いられる表現を学ぶことでした。どの学生も良く予習・復習し、フランス語力を身につけたと思います。少し難しいところもあったので、説明を工夫したいと考えています。
Effective Speaking	リアン, リッキー・チ・ヤン	Thank you for your feedback and it is really helpful for me in helping me improve this class. Thanks for letting me know about what topics were interesting for you as well and I will make some changes to try to make this class the best as it can be.
人間関係の心理学	菅沼 崇	主要な質問項目への肯定的反応（4もしくは5）の比率は、「授業のスピード（93.2%）」、「説明の分かりやすさ（97.8%）」、「自己成長の実感（91.0%）」、「授業の総合的満足度（96.6%）」であり、概ね良好であったといえるのかもしれない。自由記述においては、心理の学科でない自分でも授業内容が分かりやすかったとのコメントを多くいただいたので、今後も分かりやすさを追究していきたい。
Global Studies b	シュニッケル, ジェイコブ	At the end of the semester, I asked students which classroom activities they had liked best (most interesting, most useful, most enjoyable). This information will help me refine this class for the future by allowing me to alter or eliminate some of the activities that might be too confusing or difficult.
フランス語 2 b	藤井 陽子	この授業の目的は、初級の知識を元にフランス語のさらなる習得を目指すことでした。履修者が非常に少なかったため、学生の負担が大きかったのですが、大変意欲的に取り組んでいたと思います。教材の内容に関しては、よりわかりやすくするため工夫が必要だと考えています。
児童文学論 b	中川 理恵子	具体的に成長を実感出来たことを記述された方が多く、とてもうれしく思います。板書については、授業内で説明をしたことをよく理解していただき、聞いてノートをとることを、成長できたと実感された方が居たことも大変よかったですと思います。児童文学bの授業はなくなりますが、他の授業で、今回評判のよかった、絵本についても触れていけたら考えます。
情報リテラシー基礎 2	八木 浩雄	授業内でも授業の感想を確認しているが、概ね集計結果と同様の意見をもっている。どちらかと言えば、知識伝達型で進めるより、実際に操作する中での理解や友人同士と相談する中で自己のスキルを確認する中で理解を深める傾向があるように思えた。

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	<p>本授業の到達目標は、『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く高度に行えるように実践的な課題をこなすことで、その理解とスキルをブラッシュアップすること』でした。授業アンケートの【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【成長を実感した点】【自由記述欄】への書き込みから判断して、この授業の到達目標は、概ね達成できたと思われます。</p> <p>アンケート結果を踏まえての改善点は、【大問Ⅱ 授業内容与方法】【授業を進めるスピードの適切さ】の集計結果や自由記入欄への『もう少しゆっくり』という書き込み (1件) から、スピードについてであると思われます。共通科目でもあるので、シラバスの網羅を常に念頭に置き授業を実施しましたが、授業実施スピードが速くなった要因と考えられます。また、パソコンスキルにも個人差があるため全員が納得いくスピードで進めることが困難な状況でした。授業中ついでこられなかった点については、個別指導で対応しましたが、十分な時間をとることができなかったと思っています。今後は授業の実施方法の変更を考えています。解説と実習時間を明確に区別し、不明な点や質問は実習時間にスキルに合わせて個別対応することで、スピードについての不満を解消したいと考えています。不明な点や質問のない受講生は、練習問題や応用課題に取り組むことも可能となります。</p> <p>当該科目の目標である『パソコンスキル向上』のためには、事前事後学修での課題への取り組みが重要となります。課題に取り組む重要性を再認識してもらうために、現状実施している『実技小テスト』に加えて『スキル確認ドリル』の実施を検討しています。授業開始前に10分程度実施することで、自己のスキルチェックが可能となり、事前事後学習の取り組みへのモチベーションを上げる効果が期待できると考えられます。</p> <p>次に、効果的な授業を実施するための取り組みとその結果について述べます。授業中ついでこられなかった箇所および欠席したときのフォローのための参考資料、教材 (毎回の授業内容と次回授業予定、授業内で使用した教材) 等をmanabaコンテンツで提供しました。また、事後学修の教材として『Word・Excel自由提出課題』や、『タイピング練習教材』をmanabaで提供しました。事後学修の教材として活用したり、『実技小テスト』の試験対策として利用したりしている学生が多くみられました。</p> <p>双方向授業実施対策として、毎回の授業内で『質問・要望アンケート』を実施しました。授業の疑問点や要望を確認し、早期解決を諮りました。内容によっては個別対応しました。</p> <p>今後も、受講生の質問、要望に迅速に対応し、効果的な授業となるよう努めていく所存です。</p>
Academic Writing	シュニツケル, ジェイコブ	<p>For the writing class, students do all of their writing using a computer. For next time, I would like to introduce a weekly journal-writing assignment to give students a chance to create less formal, handwritten assignments they can share with their classmates.</p>
Business English	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thanks for your comments and your hard work this past semester. I will take all of your feedback into consideration prior to the start of next semester and implement the changes you suggested.</p>
生命と環境	阿尻 貞三	<p>1限授業でしたが、よく出席してくれました。</p>
情報リテラシー基礎2	八木 浩雄	<p>授業内でも授業の感想を確認しているが、概ね集計結果と同様の意見をもっている。どちらかと言えば、知識伝達型で進めるより、実際に操作する中での理解や友人同士と相談する中で自己のスキルを確認する中で理解を深める傾向があるように思えた。</p> <p>傾向としては、上記の通り3限とほぼ同様の傾向。</p>

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	<p>本授業の到達目標は、『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く高度に行えるように実践的な課題をこなすことで、その理解とスキルをブラッシュアップすること』です。授業アンケートの【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【成長を実感した点】【自由記述欄】への書き込みから判断して、この授業の到達目標は、概ね達成できたと思われます。</p> <p>【大問Ⅱ授業内容と方法】のアンケート結果から、今後も今までの授業方法を踏襲したうえで、より効果的な授業となるよう改善する所存です。授業を展開する中で最も問題となる点は、受講生のパソコンスキルのばらつきです。授業実施方法ですが、今後は解説と実習時間を明確に区別し、不明な点や質問は実習時間にスキルに合わせて個別対応したいと考えています。不明な点や質問のない受講生は、授業時間内に練習問題や応用課題に取り組むことも可能となります。</p> <p>また、当該科目の目標である『パソコンスキル向上』のためには、事前事後学修での課題への取り組みが重要となります。受講生に課題に取り組む重要性を再認識してもらうために、現状実施している『実技小テスト』に加えて『スキル確認ドリル』の実施を検討しています。授業開始前に10分程度実施することで、自己のスキルチェックが可能となり、事前事後学習の取り組みへのモチベーションを上げる効果が期待できると考えられます。</p> <p>次に、より効果的な授業を実施するための取り組みとその結果について述べます。授業中についてこれなかった箇所および欠席したときのフォローのための参考資料、教材（毎回の授業内容と次回授業予定、授業内で使用した教材）等をmanabaコンテンツで提供しました。また、事後学修の教材として『Word・Excel自由提出課題』や、『タイピング練習教材』をmanabaで提供しました。事後学修の教材として活用したり、『実技小テスト』の試験対策として利用したりしている学生が多くみられました。</p> <p>双方向授業実施対策として、毎回の授業内で『質問・要望アンケート』を実施しました。授業の疑問点や要望を確認し、早期解決を諮りました。内容によっては個別対応しました。</p> <p>今後も、受講生の質問、要望に迅速に対応し、効果的な授業となるよう努めていく所存です。（アンケート自由記述欄に『改善を希望する点』の記入はありませんでした。）</p>
Essential Listening	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thank you so much for your comments. The feedback for this course is important to me because this is only the second time I have taught this course. I will continue working hard to try and use educational and beneficial materials to improve this course.</p>
人間関係の心理学	菅沼 崇	<p>主要な質問項目への肯定的反応（4もしくは5）の比率は、「授業のスピード（95.2%）」、「説明の分かりやすさ（96.4%）」、「自己成長の実感（89.2%）」、「授業の総合的満足度（94.0%）」であり、概ね良好であったといえるのかもしれない。自由記述においては、質問や意見のコーナーが毎週の楽しみだったとのコメントを多くいただいたので、今後も継続していきたい。</p>
情報リテラシー基礎2	八木 浩雄	<p>アンケート結果自体は低い為、授業課題として感想を述べる内容で確認すると、概ね満足ある評価となっていた。ただどちらかというと、積極的に意見を述べる傾向も少なかったことから、人数も少ない為、個別対応で授業を進めるほうが理解の深まるクラスであったと考えている。</p>
現代の思想	岡部 英男	<p>○小テストを授業2回に1回のペースで、合計7回実施した。小テストを書くために、授業でしっかりノートをとる必要があるので、大半の学生では授業への取り組みの向上が見られたと思われる。出来のあまり良くない学生もほとんどいなかった。</p> <p>○初回の授業、および試験の直前に、試験にはインターネットなどで容易に調べるだけでは不十分な問題も出題される旨を注意しておいたので、若干の例外を除いて、試験では見当違いの答えはほぼなかった。</p> <p>○小テストのフィードバックについては、小テストの解説を次回の授業の始めに前回の授業の復習をかねて行った。フィードバックも十分行えたと思う。</p> <p>○試験は最終回（15回目）の授業時に行った。14回目の授業で試験をし、15回目の授業でフィードバックを行うと、試験を受けても15回目の授業を欠席して失格となることもあるが、それは避けられた。</p> <p>○授業の難易度については、「十分に理解できた」が9%、「ほぼ理解できた」が35%、「まあまあ理解できた」が57%であった。授業のスピードについては、「適切」が39%、「どちらかといえばあてはまる」が61%であった。授業のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が48%、「どちらかといえばあてはまる」が43%であった。板書のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が43%、「どちらかといえばあてはまる」が57%であった。声や言葉の聞き取りやすさについては、「とてもよくあてはまる」が52%、「どちらかといえばあてはまる」が43%であった。授業の満足度については、「とてもよくあてはまる」が39%、「どちらかといえばあてはまる」が61%であった。どの項目についてもほぼ肯定的な回答が得られていると思われるが、いっそうわかりやすい授業を心がけたい。</p> <p>○学生による自由記述の回答がなかったのは残念だが、授業を通じて自分の成長を実感できたかについて、「とてもよくあてはまる」が26%、「どちらかといえばあてはまる」が52%であったので、ほぼ学生の希望に添えていると思われる。</p>

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
農業と食料	岡田 美香	<p>アンケートの回答をありがとうございました。記述欄では、農業への興味が高まった、アカデミック・リテラシー（レポートや要約の書き方、表やグラフを見る力、論理的に考える力）が身についたとありました。皆さんが授業を真剣に聞き、課題に取り組んでくれた結果だと思えます。</p> <p>他方で、必修科目で補講を休んだにもかかわらず、補講欠席者を対象にレポート課題が課され、負担であったというコメントもありました。今回の授業で休講と補講が多くなったのは、担当者の産前休暇の取得によるものです。産前休暇の期間は、労働基準法第65条に則り決定しました。補講に欠席した学生に対して課題を課した理由は次の2点にあります。（1）補講に出席する学生と欠席する学生の間の評価に公平性を保つ、（2）文部科学省により「我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準とされて」いるため、欠席した学生の学修時間減少を補う必要があったからです。レポート課題はやむを得ない措置でしたが、補講を休まざるを得ない学生に対しては、申し訳なく思っています。私の産前休暇にご協力賜りましたこと、改めてお礼申し上げます。</p> <p>アンケート結果を踏まえて、内容をより分かりやすく、担当者の声や言葉により聞き取りやすく、工夫していきたいと思えます。</p>
心の健康	前川 真奈美	<p>授業アンケートにご協力くださり誠にありがとうございました。</p> <p>今年度から設置された科目ということもあり、授業の進行等において手探りな面が多く、解説が曖昧であったり、皆さんに「理解できた」という感覚をもっていただきにくくなってしまったところが多かったように感じています。</p> <p>アンケートでいただいたご意見をもとに、次年度はより理解しやすく興味をもっていただけの内容にできるよう努めます。</p>
生命の科学	平塚 理恵	<p>アンケートの実施率が低かったので、来年度は授業中にアンケートを実施し、今後の授業の参考にしたいと思います。</p>
健康運動実習 b	島崎 あかね	<p>人数が少なく、アットホームな雰囲気の中での実技となりましたが、ネット型スポーツとゴール型スポーツを2種目ずつ行うことで、いろいろな人とチームを組むことができたと思います。スポーツを通して声を掛け合うことや身体の使い方など、各種目のルール以外のことも身についたのではないかと思いますので、日常生活のさまざまな場面に応用して健康的な生活を継続していきましょう。</p>
日本国憲法	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思えます。</p>
Global Studies a	時田 朋子	<p>英語でバイリンガリズムについて学ぶということで、とてもチャレンジングな授業だったと思います。いただいた評価を生かして、よりよい授業になるよう改善していきます。</p>
グローバル・キャリアデザイン	深澤 晶久	<p>グローバルキャリアデザインを履修いただいた学生の皆さんへ</p> <p>今年は、初めて抽選をさせていただき、40名の学生さんに履修いただきました。きめ細かくフォローできなかった点は、次年度への課題といたします。</p> <p>最後の授業で皆さんに議論していただいた次年度への課題ですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践するために、前期のこの授業を受けたかった。 ・1回の授業に内容が詰め込まれすぎていた。 ・日野キャンパスの多くの学科にこの授業を知らせて欲しい ・席はもっと変えてもよかった。 ・質問の時間の設定方法を工夫してほしい。 ・4年生の体験談を増やして欲しい。 ・レゴシリアスプレイのコマをもう少し早い回に実施してほしい。 ・海外を視野に入れたセッションを充実させてほしい。 ・遅刻する学生が多かった印象です。改善策を考えて欲しい。 <p>など、様々なご意見をいただきました。次年度に反映していきたいと思えます。</p> <p>主体性溢れる皆さんと、多くの社会人との交流は、今までにない熱いものが交わされていたと感じます。ゲストの方の失敗経験も聞きたかったとのご意見もあり、来年のゲスト招聘には、配慮したいと考えています。</p> <p>この授業で学ばれたこと、気づかれたことを生かして、いよいよスタートする就職活動には、堂々と臨まれることを期待しています。</p> <p>皆さんのご活躍を心から期待しています。</p> <p>深澤晶久</p>

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発達心理学 b	前川 真奈美	<p>授業アンケートにご協力くださり誠にありがとうございました。双方向授業の工夫と予習復習の課題提示の点で改善が必要であることがわかりました。</p> <p>また、それらが少なかったことが、皆さんに「理解できた」という感覚をもっていただきにくくなった要因の一つだと考えました。</p> <p>本講義は今年度で閉講となりますが、アンケートでいただいたご意見をもとに、他の講義でも、より理解しやすく興味をもっていただける内容にできるよう努めます。</p>
現代の哲学 b	岡部 英男	<p>○小テストを授業2回に1回のペースで、合計7回実施した。小テストを書くためには、授業でしっかりノートをとる必要があるので、大半の学生では授業への取り組みの向上が見られたと思われる。出来のあまり良くない学生も、若干の例外を除いてほとんどいなかった。</p> <p>○初回の授業、および試験の直前に、試験にはインターネットなどで容易に調べるだけでは不十分な問題も出題される旨を注意しておいたので、試験では見当違いの答えはほぼなかったが、説明の不十分な答案も多少見られた。</p> <p>○小テストのフィードバックについては、小テストの解説を次回の授業の始めに前回の授業の復習をかねて行った。フィードバックも十分行えたと思う。</p> <p>○試験は最終回（15回目）の授業時に行った。14回目の授業で試験をし15回目の授業で試験のフィードバックを行うと、試験を受けても15回目の授業を欠席して失格となることもあるが、それは避けられた。</p> <p>○授業の難易度については、「十分に理解できた」が7%、「ほぼ理解できた」が40%、「まあまあ理解できた」が42%であった。授業のスピードについては、「適切」が44%、「どちらかといえばあてはまる」が42%であった。授業のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が44%、「どちらかといえばあてはまる」が26%であった。板書のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が30%、「どちらかといえばあてはまる」が42%であった。声や言葉の聞き取りやすさについては、「とてもよくあてはまる」が58%、「どちらかといえばあてはまる」が33%であった。授業の満足度については、「とてもよくあてはまる」が40%、「どちらかといえばあてはまる」が40%であった。どの項目についてもほぼ肯定的な回答が得られていると思われるが、いっそうわかりやすい授業を心がけたい。</p> <p>○学生による自由記述の回答がなかったのは残念だが、授業を通じて自分の成長を実感できたかについて、「とてもよくあてはまる」が26%、「どちらかといえばあてはまる」が49%であったので、ほぼ学生の希望に添えていると思われる。</p>
ドイツ語で学ぶドイツ語 b	ブラック, ヨーガン	<p>Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results.</p>
生命と環境の倫理	岡部 英男	<p>○小テストを授業2回に1回のペースで、合計7回実施した。小テストを書くためには、授業でしっかりノートをとる必要があるので、大半の学生では授業への取り組みの向上が見られたと思われる。出来のあまり良くない学生もほとんどいなかった。</p> <p>○初回の授業、および試験の直前に、試験にはインターネットなどで容易に調べるだけでは不十分な問題も出題される旨を注意しておいたので、若干の例外を除いて、試験では見当違いの答えはほぼなかったが、問題の設定を読み違えている学生や、二つの設問の一方を詳しく答えても他方をあまり書いていない学生も多少見られた。答案の書き方・答え方についての解説も行っていきたい。</p> <p>○小テストのフィードバックについては、小テストの解説を次回の授業の始めに前回の授業の復習をかねて行った。フィードバックも十分行えたと思う。</p> <p>○試験は最終回（15回目）の授業時に行った。14回目の授業で試験をし15回目の授業でフィードバックを行うと、試験を受けても15回目の授業を欠席して失格となることもあるが、それは避けられた。</p> <p>○授業の難易度については、「十分に理解できた」が17%、「ほぼ理解できた」が55%、「まあまあ理解できた」が27%であった。授業のスピードについては、「適切」が38%、「どちらかといえばあてはまる」が43%であった。授業のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が38%、「どちらかといえばあてはまる」が43%であった。板書のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が35%、「どちらかといえばあてはまる」が37%であった。声や言葉の聞き取りやすさについては、「とてもよくあてはまる」が50%、「どちらかといえばあてはまる」が37%であった。授業の満足度については、「とてもよくあてはまる」が30%、「どちらかといえばあてはまる」が53%であった。どの項目についても大半の学生からほぼ肯定的な回答が得られていると思われるが、いっそうわかりやすい授業を心がけたい。</p> <p>○学生による自由記述の回答がなかったのは残念だが、授業を通じて自分の成長を実感できたかについて、「とてもよくあてはまる」が22%、「どちらかといえばあてはまる」が65%であったので、ほぼ学生の希望に添えていると思われる。</p>
ドイツ語2 b	ブラック, ヨーガン	<p>Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results.</p>

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
言語学入門	猪熊 作巳	内容が多岐にわたり、全ての内容に興味を持てるとは限らない授業だったかもしれませんが、広い視野を持ちながら身近な事例に関心を抱く姿勢を身につけてくれればと思います。
中国語 1 b	劉 素英	すべての項目に対して真剣かつ適切に答えてくれて、感謝しています。アンケートを通じていろいろなことが分かり、たいへん参考になりました。アンケートの結果を今後授業の改善に生かしたいと思います。これからも皆様のご意見を聞きながら授業目標をよりよく達成するよう努力していきたいと思っています。 アンケートで皆さんの出席率を再確認しました。一時限目にもかかわらずちゃんと出席し、しかも遅刻もほとんどなかったことを特にほめてあげたいです。一年間ご苦労様でした。 アンケートから95%の学生はこの授業のために予習復習をやっていることがわかり、うれしく思い、評価したいと思います。「2時間以上」「2時間未満」の皆さんは中国語の勉強を継続する場合もこの調子で続けてほしいです。「一時間未満」の皆さんは本気に勉強したければもう少し予習復習時間を増やしてほしいです。 回答者の中に、この授業を通じて「とても」と「どちらかといえば」自身の成長が実感できた学生が95%、かつ、この科目をさらに専門的に学びたいと思う学生が84%もいることをとてもうれしく感じます。 回答者の中に、「とても」と「どちらかといえば」この授業に満足した学生が100%いたことがとても励みになります。これからも皆様のご希望に沿えるよう努めたいと思います。 これからも引き続き中国語勉強に頑張ってください。
日本国憲法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
実践教養講座 e	椎原 伸博, 稲垣 伸一, 広井 多鶴子, 佐々木 真理, 河野 龍也	「映画を色々な視点で見ることができるようになった」「原作との違いを学べた」「時代背景を知ることができた」などの感想が多く寄せられました。映画を題材に社会と文学を学ぶ授業ですので、ほぼ目的は達成されたのではないかと思います。また、オムニバスの授業の面白さも伝わったようです。今回の授業はとても一人ではできない授業です。受講生は多角的な視点やアプローチを実感することができたのではないかと思います。映画を見る時間や方法などについては、今後、工夫していきたいと思っています。
身体運動の科学 b	島崎 あかね	私たちの身体は神秘的な力を秘めているとともに、その複雑さゆえにすべてが解明できているわけではありません。でも自分の身体をどのような状態で維持するかは自分自身の取り組みにかかっています。授業を通して得た知識だけでなく、そこから興味をもって自分で調べたり実践することで、日常生活に応用することで「運動」と「健康」の関係などについての学びをさらに深めていきましょう。
中国語 1 b	劉 素英	すべての項目に対して真剣かつ適切に答えてくれて、感謝しています。アンケートを通じていろいろなことが分かり、たいへん参考になりました。アンケートの結果を今後授業の改善に生かしたいと思います。これからも皆様のご意見を聞きながら授業目標をよりよく達成するよう努力していきたいと思っています。 出席率がとてもよかったことをまず褒めてあげたいと思います。出席することは語学勉強の基本ですから。 この授業の週当たりの予習復習時間は、全体的には時間が不足しているようです。本気に勉強したければもう少し時間を増やしてほしいです。 回答者の中に「とても」と「どちらかといえば」この授業を通じて自身の成長が実感できた学生が100%であったこと、かつ、この科目をさらに専門的に学びたいと思う学生が100%いたこと、さらにこの授業に満足した学生が100%もいたことをうれしく思います。 これからも皆様のご希望に沿えるよう努めたいと思います。 これからも引き続き中国語勉強に頑張ってください。
数学的思考	渡辺 敏	みなさんの学びたい数学の内容であったが常に悩んでいました。問題の選定や、学び方についても随分と迷いました。皆さんの学びに少しでも寄与できたのならうれしいです。今回の15回で学んだ思考法や方略をぜひ、日常生活にも生かしてください。
食文化論	荒尾 美代	DVDの視聴において、講義内容、プリントも参考にしながら、各自が積極的に「感じて、考えて」くれたので、この部分の授業の到達点の予想はるかに上回る結果となりました。 食文化のダイナミックさを伝えていきたいというのが本授業のねらいとしてありましたが、Aと、Bと、Cにつながりがあるということの説明に、もっと時間をかけた方がよかったと思っています。

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎スポーツ実習 a	島崎 あかね	<p>施設の関係で限られた時間での実技授業となってしまいましたが、週1回の授業を通して日常生活での運動の重要性、健康や体力の維持向上に必要な運動等を体験的に学ぶことができたと思います。渋谷キャンパスは運動施設が十分とはいえませんが、通学途中での階段の利用などを意識的に行って、健康的な生活を維持していきましょう。</p>
日本の古典文学	上野 英子	<p>この講座は今年度から新たに始まったものであり、私にとっても、文学部以外の古典文学の講義にアクティブ・ラーニングを採り入れた初めての試みでした。それだけに皆さんからの反応は興味がありましたが、アンケートの結果、基本的にはこの 방식을次年度も続けていこうと考えています。レポートも、皆さんよく頑張っていましたね。なかには記念にとっておきたい程の力作もありましたよ。</p>
くらしの化学	山崎 壮, 加藤木 秀章	<p>加藤木：くらしでの化学がどのように利用されているかを授業前後に深く調べてみると、より学修効果を高めることができると思います。</p> <p>山崎： 平成30年度までの「化学の世界a」では山崎だけで担当していましたが、2019年度「くらしの化学」では、加藤木先生にも担当していただき、取り上げるテーマを広げました。そのためか、日野キャンパスのすべての学科からこれまで以上に広く履修者が集まりました。まずはよかったです。 授業アンケート結果を見ると、授業評価は全般的に全体平均値とおおむね同程度でした。ただし「双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていましたか」の評価が低かったです。履修者が多いことは教員としてうれしいのですが、履修者135名に対して香雪記念館大教室で双方向授業を行うのは難しい問題です。今後の検討課題とします。 授業アンケートで回答された自由記載コメントを読むと、繊維、医薬品、化粧品、サプリメントなどは興味を感じてもらえたテーマでした。今後も、興味を持ってもらえるテーマを柔軟に取り上げていくようにしたいです。</p>
中国語 2 b	劉 素英	<p>すべての項目に対して真剣かつ適切に答えてくれて、感謝しています。アンケートを通じていろいろなことが分かり、たいへん参考になりました。アンケートの結果を今後授業の改善に生かしたいと思います。これからも皆様のご意見を聞きながら授業目標をよりよく達成するよう努力していきたいです。 これからも引き続き中国語の勉強に頑張ってください。</p>

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>最初に、授業アンケートの集計結果「Ⅰ. あなた自身について」と「Ⅲ. 全体について」から「皆さん」について確認します。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」の各項目の平均値は「授業の欠席回数」が1.48回、「週あたりの予習復習時間」が0.98時間、「授業が理解できた割合」が76.2%でした。また、「Ⅲ. 全体について」の「11. 自身の成長を実感した」は、「とてもよくあてはまる」が24.1%、「どちらかといえばあてはまる」が58.6%でした。成長を実感した点について、回答者29名中16名の大多数の方が“パソコン操作技術や知識が向上した”ことを挙げ、“他の授業や様々な場面で活用できるようになった”という記述もありました。15回授業アンケートにも“確実にできることが多くなったし、実践的な技術について授業内で習得できたのは良い機会になった”、“前期に比べて難しいと感じたが、その分できるようになると自分のためになる授業だった”という記述がありました。これらの結果から、多くの皆さんが授業および事前事後学習に真摯に取り組み（欠席しても自ら予復習に取り組む）、自身の成長を</p> <p>一方で、「自身の成長を実感した」の「とてもよくあてはまる」が24.1%という値は私の印象（手応え）に比べて低いものでした。欠席者が多かった（4回以上欠席者が5名）ことが影響しているかもしれません。「授業日ごとの成果物や小テスト3回分の結果」と「授業の出席数」との間にも相関があり、出席の大切さを改めて感じています。欠席数が平均値（0.91回）よりも大きい原因として課題の提出期限が長いことが思い当たります。課題に取り組んでもらうことを重視し、一定期間は評価を下げて提出できるようにしていますが、課題提出期限の見直しが必要かもしれません。さらに、各回の授業をそれぞれ完結させる仕組み作りをしたいと思います。</p> <p>次に、「Ⅱ. この授業の内容と方法について」と「Ⅲ. 全体について」から「授業」について確認します。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」の各設問と、「Ⅲ. 全体について」の「15. 授業に満足したか」の総合満足度とのクロス集計結果表から求めた値で見えます。以下に示す値は「大変満足」または「どちらかといえば満足」と、「とてもよくあてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」の値を合計し、授業の満足度を合わせて求めたものです。</p> <p>設問順に、「授業の進むスピードは適切であったか？」が79.3%、「説明は分かりやすかったか？」が82.7%、「双方向授業等に工夫がされていたか？」が79.3%、「板書・パワーポイント・配布資料は分かりやすかったか？」が86.2%、「教員の声や言葉は聞き取りやすかったか？」が82.7%でした。</p> <p>これらの値も、私の印象や担当した他クラスとの比較においても低いと感じ、原因をいろいろと探りました。原因の一つはやはり欠席の多さでしょう。もう一つは私側の問題ですので詳細は省きますが、“406教室内のデスク・PCの配置と受講生40名満杯”、“次の時間のための教室移動”という点です。皆さんとのコミュニケーションを不十分にした遠因とも考えられますので、今後改善を図りたいと思います。とは言え、「授業」についてほぼ及第点をいただけたものと思います。「授業の進むスピードは適切であったか？」については単独の結果でも4.28（全体平均は4.27）でした。授業のスピードは私にとっての課題でしたので、“行きつ戻りつ”を肝に銘じて授業を進めたことが良かったのかもしれません。</p> <p>「18. 自由記述欄」に、「Excelについてはかなり手こずったのもう少しゆっくり時間が取れていると良いと思った。」という記述がありました。「情報リテラシー基礎2」のExcelの学習内容は「情報リテラシー基礎1」の内容から1～2段階飛ばしている感は否めません。「情報リテラシー基礎2」の内容へと段階的に進めるよう取り組みたいと思います。</p> <p>この科目の目標「情報リテラシー基礎1で学んだ内容の深い理解とブラッシュアップをする」をめざし、シラバスの【授業内容】をすべて終えることができました。授業アンケートと15回授業内アンケートの内容からも、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標も達成したと言えます。</p>
身体運動の科学 b	佐藤 健	<p>おそらく、学内では初めての内容を実施しました。意外に理解している、授業のスピードについて来れたので驚きとこれからの期待感があります。最後に、動画を見てもらいたかったのですが、教室設備に精通してなくて、上手にせなくて残念でした。次回、機会があれば、もっと上手に授業を運営したいです。</p>
文学概論	上野 英子	<p>この講義に関心をもって参加して下さった方が多かったこと、予習復習の時間も比較的多くとって下さったこと、理解度も高かったことなど、アンケートの結果を拝見して、とても嬉しく思いました。</p>

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>最初に、授業アンケートの集計結果「Ⅰ. あなた自身について」と「Ⅲ. 全体について」から「皆さん」について確認します。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」の各項目の平均値は「授業の欠席回数」が1.18回、「週あたりの予習復習時間」が1.00時間、「授業が理解できた割合」が82.5%でした。また、「Ⅲ. 全体について」の「11.自身の成長を実感した」は、「とてもよくあてはまる」が50.0%、「どちらかといえばあてはまる」が45.5%でした。成長を実感した点について、回答者22名中14名の方から「パソコン操作技術や知識が向上した」が挙げられていました。15回授業アンケートにも“復習課題や自由提出課題を通して理解できるようになった。教材や資料を見なくてもパソコンが使えるようになりたいと感じた”、“便利な機能が知れてよかった。特にWordの字下げやインデントの設定方法など（MOS試験に出題されて合格した）”という記述がありました。これらの結果から、皆さんが授業および事前事後学修に真摯に取り組み、自身の成長を実感したことが分かります。</p> <p>一点、欠席数が平均値（0.91回）よりも高いことが気になります。原因の一つに課題の提出締め切りが長いことが考えられますので、課題提出期限を見直したいと思います。さらに各回の授業をそれぞれ完結させる仕組み作りをしたいと思います。</p> <p>次に、「Ⅱ. この授業の内容と方法について」と「Ⅲ. 全体について」から「授業」について確認します。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」の各設問と、「Ⅲ. 全体について」の「15. 授業に満足したか」の総合満足度とのクロス集計結果表から求めた値で見えます。以下に示す値は「大変満足」または「どちらかといえば満足」と、「とてもよくあてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」の値を合計し、授業の満足度を合わせて求めたものです。</p> <p>設問順に、「授業の進むスピードは適切であったか？」が81.8%、「説明は分かりやすかったか？」が95.4%、「双方向授業等に工夫がされていたか？」が95.4%、「板書・パワーポイント・配布資料は分かりやすかったか？」が95.4%、「教員の声や言葉は聞き取りやすかったか？」が95.4%でした。すべての項目に及第点をいただくことができました。「授業の進むスピードは適切であったか？」の81.8%は他の項目に比べて値は低かったものの単独項目の値で表すと4.32（全体平均は4.27）、平均値以上でもあり納得しています。この項目は私の課題でしたので、“行きつ戻りつ”を肝に銘じて授業を進めたことが良かったのだと思います。</p> <p>「18. 自由記述欄」には特に要望はなく、“画面送信とmanabaへの授業内容の掲載が有難かった”という記述がありました。これまで長い間掲載してきましたが、初めていただいたコメントです。これからも続けたいと思います。15回授業アンケートには“パソコン操作についていけないことがあっても、あとで付き切りで教えていただいたので理解できました”、“…時間外にも対応してくださり…”という記述がありましたが、メール、授業前後の時間、曜日と教室を指定しての個別質問対応が皆さんの理解向上に役立ち満足しています。</p> <p>この科目の目標「情報リテラシー基礎1で学んだ内容の深い理解とブラッシュアップをする」をめざし、シラバスの【授業内容】をすべて終えることができました。授業アンケートと15回授業内アンケートの内容からも、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】」の基礎を修得する」という科目の到達目標も達成したと言えそうです。</p>
くらしの化学	菅野 元行	<p>履修生29名中13名の回答に留まり（回答率45%）でしたが、総合的な満足度が4.85（5.00が最高点）となりました。昨年度よりも授業内容は工夫し充実させたつもりでしたが、回答率（昨年度33%）、総合的な満足度（昨年度4.73）とも増加しました。</p> <p>回答していただいた方々と、自由記述欄に記載していただいた方々に御礼申し上げます。代表として数点掲載します。「自分の身の回りに活用されている化学についての関心が高まった。」「授業後の課題を毎週することによって文章力が身についた。」「身の回りにある製品の性質や、普段何気なく口にしてるものや使っているものでき方などについて詳しい知識が身についた。」「化学的な思考をその一端でも身につけることができた。普段当たり前のように見たり摂取したり身近なものに使われている物質の実態を知ることができた。」「来年も先生の講義を受けたいと思うほど充実した学びの時間が過ごせました。有意義な授業をありがとうございました。」「今後もしっかり授業を心がけます。」</p>
くらしの人間工学	佐藤 健	<p>予定・想定より受講者が多くて、行き届かなかったところがありました。授業のメモは、スマホではなく手書きでとるように練習しましょう。授業中のUNOとカップ類も禁忌です。</p>
食文化論	荒尾 美代	<p>DVDの視聴において、講義内容、プリントも参考にしながら、各自が積極的に「感じて、考えて」くれていたので、この部分の授業の到達点の予想をはるかに上回る結果となりました。</p> <p>食文化のダイナミックさを伝えていきたいというのが本授業のねらいとしてありましたが、Aと、Bと、Cにつながるがあるということの説明に、もっと時間をかけた方がよかったと思っています。</p>

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
女性と職業	蟹江 教子	アンケートに回答した学生の多くが授業内容を理解してくれたようで、この点についてはうれしく思う。受講学生の人数が多く、課題報告の時間なども設けたが、一方的な授業になりがちだった点は反省点である。 この分野に対する学生の興味関心を高め、学生自身が矛盾や疑問に気づくことができるような授業にしたい。
ドイツ語 1 b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results.
情報リテラシー応用 c	池田 徳正	データベースの課題は完成度が高く、驚かされるものが多くみられました。特にAccessは、動作的に分かりづらい部分があるため、敬遠してしまいましたが、頑張っており取り組む中で、習得することができ良かったと思います。 プレゼンの課題では、興味深いアイデアがたくさん出ました。
Global Studies d	松島 照彦, 山崎 壮, 於保 祐子	（松島記）今年度は山崎先生、於保先生といろいろ工夫してゲームや聴き取りを取り入れて授業を行いました。授業評価アンケートは、manabaで行いましたが「まあまあ」の評価がもらえて良かったと思って居ます。先生達はネイティブスピーカーではないので、発音の点など不十分ところがあったと思います。来年はDVDを活用するなど改善をしていこうと思います。
東洋思想入門	田中 靖彦	予想外の高評価をいただき、大変に嬉しく思います。中国史に興味がありませんでしたが、この授業を通して面白いと思うようになったというコメントも多くいただきました。いただいた多くのコメントを励みに、今後ともよい授業をすべく努めてまいります。
農業と食料	岡田 美香	アンケートの回答をありがとうございました。記述欄では、農業への興味が高まった、アカデミック・リテラシー（レポートの書き方、表やグラフを読み取る力）が身についたとありました。皆さんが授業を真剣に聞き、課題に取り組んでくれた結果だと思います。 他方で、1名の学生から補講欠席者を対象にレポートが課され、負担であったというコメントもありました。今回の授業で休講と補講が多くなったのは、担当者の産前休暇の取得によるものです。産前休暇の期間は、労働基準法第65条に則り決定しました。補講に欠席した学生に対して課題を課した理由は次の2点にあります。（1）補講に出席する学生と欠席する学生の間の成績評価に公平性を保つ、（2）文部科学省により「我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準とされて」いるため、欠席した学生の学修時間減少を補う必要があったからです。レポート課題はやむを得ない措置でしたが、補講を休まざるを得ない学生への負担が大きかったことに対しては、申し訳なく思っています。 難しい言葉の説明が欲しいという要望がありましたので、難しい言葉は分かりやすい言葉で言い換えるなどして、学生の理解度を高めていきたいと思います。 より双方向の授業形態にするために、（1）コメントシートの内容を紹介し、コメントする、（2）質問や意見がないか、授業内で聞く等の工夫をしていきます。
健康体力科学演習	島崎 あかね	日常生活で「歩行」は当たり前に行っていることですが、その歩行をいかに「運動」として取り入れることができるか、ということに意識を向けられるかを考えることができたと思います。1日に7000～8000歩の歩行を確保する、今の生活に+10分の運動を取り入れる、といった健康の保持増進に必要な知識と実践力を継続していきましょう。
フランス語で学ぶフランス語 b	藤井 陽子	この授業の目的は、フランス語の日常会話で用いられる表現を学び、身につけることでした。履修学生が少なかったため、ゆっくりとでしたが着実に知識を習得できていたと思います。授業の準備にも復習にも丁寧に取り組んでいました。
文化人類学入門	高橋 美和	たくさんのコメントをありがとう。文化人類学の授業が初めてという履修者の方が多く、「新しい見方・考え方を学んだ」「あたりまえと思っていたことをあらためて考えた」「異文化の理解がいかに大切かわかった」などのコメントが多数寄せられ、手ごたえを感じました。予習課題を数回提出していただきましたが、これへのフィードバックがやや不足していたかなと反省しています。「双方向授業」への工夫がさらに必要のようです。
心の健康	佐藤 恵美	この授業は初めての開講であり、共通科目ということで皆さんの要望もわからなかったのが、最近ニュースや新聞、テレビ等で話題になっている、あるいは知っておいたほうが良い知識を中心に講義を行いました。皆さんが満足されていたようで良かったです。また、私のミスで教科書を指定することができず申し訳ございませんでした。今後も新しい知識やトピックを入れながら講義いたしますので、よろしくお願いたします。

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
法学入門	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	<p>本授業の到達目標は、『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く高度に行えるように実践的な課題をこなすことで、その理解とスキルをブラッシュアップすること』です。授業アンケートの【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【成長を実感した点】【自由記述欄】への書き込みから判断して、この授業の到達目標は、概ね達成できたと思われれます。</p> <p>【大問Ⅱ 授業内容と方法】のアンケート結果から、今後も今までの授業方法を踏襲したうえで、より効果的な授業となるよう改善する所存です。授業を展開する中でもっとも問題となる点は、受講生のパソコンスキルのばらつきです。今後は授業実施方法を若干変更し、解説と実習時間を明確に区別し、不明な点や質問は実習時間にスキルに合わせて個別対応したいと考えています。不明な点や質問のない受講生は、授業時間内に練習問題や応用課題に取り組むことも可能となります。</p> <p>また、当該科目の目標である『パソコンスキル向上』のためには、事前事後学修での課題への取り組みが重要となります。受講生全員に事前事後学修の必要性を再認識してもらえよう、現状実施している『実技小テスト』に加えて『スキル確認ドリル』の実施を検討しています。授業開始前に10分程度実施することで、自己のスキルチェックが可能となり、事前事後学習取り組みへのモチベーションを上げる効果が期待できると思われれます。</p> <p>次に、より効果的な授業を実施するための取り組みとその結果について述べます。授業中についてこられなかった箇所および欠席したときのフォローのための参考資料、教材（毎回の授業内容と次回授業予定、授業内で使用した教材）等をmanabaコンテンツで提供しました。これに関しては、『教材の資料が常にmanabaにあったので、分からなくなったときに見返せてよかった』等の記入がありました。また、事後学修の教材として『Word・Excel自由提出課題』や、『タイピング練習教材』をmanabaで提供しました。事後学修の教材として活用したり、『実技小テスト』の試験対策として利用したりしている学生が多くみられました。特にExcelの自由提出課題は3課題提供しましたが、いずれも80%以上の提出がありました。</p> <p>双方向授業実施対策として、毎回の授業内で『質問・要望アンケート』を実施しました。授業の疑問点や要望を確認し、早期解決を諮りました。内容によっては個別対応しました。</p> <p>今後も、受講生の質問、要望に迅速に対応し、効果的な授業となるよう努めていく所存です。（アンケート自由記述欄に改善を希望する点の記入はありませんでした。）</p>

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
		<p>最初に、授業アンケートの集計結果「Ⅰ. あなた自身について」と「Ⅲ. 全体について」から「皆さん」について確認します。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」の各項目の平均値は「授業の欠席回数」が0.97回、「週あたりの予習復習時間」が1.12時間、「授業が理解できた割合」が81.0%でした。また、「Ⅲ. 全体について」の「11.自身の成長を実感した」は、「とてもよくあてはまる」が55.2%、「どちらかといえばあてはまる」が34.5%でした。成長を実感した点について、回答者29名中20名の方から“パソコン操作技術の基礎・応用や知識が身についた、向上した”や“自分もやってみたいという便利な技術を多く知れた”、“WordやExcelについて大いに学べた”、“課題の作成時などこれから生かしていきたい”という記述がありました。15回授業アンケートにも“毎回の授業はとても実践的で、大学生活だけではなく社会に出ても使える知識ですごく勉強になった。パソコンを使う楽しさを知ることができ、これからももっと勉強してきたいと思った。”、“大学のレポートやアルバイトで、授業で習ったことを実際に使い普段の生活に活かしている…”、“毎回授業内でやった課題を提出することで、休んでいても復習がしっかりできたし理解が進んだと思う”、“自分一人でできるようになりたいという意欲がでた。この春休み期間にパソコンをしてもっとできるようになりたい。”など、紹介しきれないほどの記述がありました。これらの結果から、皆さんが授業および事前事後学修に真摯に取り組み、自身の成長を実感し、さらに学ぶ意欲がわいたことが分かりました。</p> <p>次に、「Ⅱ. この授業の内容と方法について」と「Ⅲ. 全体について」から「授業」について確認します。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」の各設問と、「Ⅲ. 全体について」の「15. 授業に満足したか」の総合満足度とのクロス集計結果表から求めた値で見えます。以下に示す値は「大変満足」または「どちらかといえば満足」と、「とてもよくあてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」の値を合計し、授業の満足度を合わせて求めたものです。</p> <p>設問順に、「授業の進むスピードは適切であったか？」が82.7%、「説明は分かりやすかったか？」が86.2%、「双方向授業等に工夫がされていたか？」が79.3%、「板書・パワーポイント・配布資料は分かりやすかったか？」が86.2%、「教員の声や言葉は聞き取りやすかったか？」が86.2%で、すべての項目に及第点をいただくことができました。「授業の進むスピード」は私の課題でしたので、意識して「行きつ戻りつ」授業を進めたことが良かったのだと思います。</p> <p>「18. 自由記述欄」には授業内で回答した内容以外の要望は特になく、“発展的な内容をまんべんなく理解することができた”、“とってよかった授業の一つ”、“文書を作る宿題があったり、たまに小テストがあったりするのは知識の定着のために良いと思った。質問を受け付けてくれるのも良い取り組みだと思う”、“この講義でさまざまなスキルを身につけ、MOSに合格することができた”、“知識テストや提出課題は、私のパソコンスキルを大きく伸ばしてくれた”、“分からない点があればすぐに聞ける環境がとてもありがたいと思った(メールでの質問対応について)”という記述がありました。皆さんからいただいた言葉を糧に来年度も頑張りしたいと思います。また、全15回出席の3年生から15回授業アンケートに寄せられた声を紹介させていただきます。最上級の褒め言葉に、天にも昇る気持ちです。“こんなに丁寧に学生からの質問や要望をきいたり、毎回の講義内容をmanabaに記録したり、課題についてフィードバックしたりする先生には初めて出合った”。</p> <p>この科目の目標「情報リテラシー基礎1で学んだ内容の深い理解とブラッシュアップをする」をめざし、シラバスの【授業内容】をすべて終えることができました。授業アンケートと15回授業内アンケートの内容からも、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】」の基礎を修得する」という科目の到達目標も達成したと言えます。</p>
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	
フランス文学b	藤井 陽子	<p>この授業の目的は、19世紀以降のフランス文学の諸作品の一部を読み、フランス文学の特徴を学ぶことでした。授業は講義形式で行ったため、質疑応答や双方向の授業にできなかったのは残念でした。3回のレポートを履修者全員が提出し、試験時にはレポートの添削内容を反映した解答ができていたと思います。</p>

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	<p>本授業の到達目標は、『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く高度に行えるように実践的な課題をこなすことで、その理解とスキルをブラッシュアップすること』です。授業アンケートの【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【成長を実感した点】【自由記述欄】への書き込みから判断して、この授業の到達目標は、概ね達成できたと思われれます。</p> <p>【大問Ⅱ授業内容与方法】のアンケート結果から、今後も今までの授業方法を踏襲したうえで、より効果的な授業となるよう改善する所存です。授業を展開する中でもっとも問題となる点は、受講生のパソコンスキルのばらつきです。今後は授業実施方法を若干変更し、解説と実習時間を明確に区別し、不明な点や質問は実習時間にスキルに合わせて個別対応したいと考えています。不明点や質問のない受講生は、授業時間内に練習問題や応用課題に取り組むことも可能となります。</p> <p>また、当該科目の目標である『パソコンスキル向上』のためには、事前事後学修での課題への取り組みが重要となります。事前事後学修の必要性を再認識してもらえよう、現状実施している『実技小テスト』に加えて『スキル確認ドリル』の実施を検討しています。授業開始前に10分程度実施することで、自己のスキルチェックが可能となり、事前事後学習の取り組みへのモチベーションを上げる効果が期待できると思われれます。</p> <p>次に、より効果的な授業を実施するための取り組みとその結果について述べます。授業中についてこられなかった箇所および欠席したときのフォローのための参考資料、教材（毎回の授業内容と次回授業予定、授業内で使用した教材）等をmanabaコンテンツで提供しました。また、事後学修の教材として『Word・Excel自由提出課題』や、『タイピング練習教材』をmanabaで提供しました。事後学修の教材として活用したり、実技小テストの試験対策として利用したりしている学生が多くみられました。特にExcelの自由提出課題は3課題提供しましたが、70%～80%以上の提出がありました。</p> <p>双方向授業実施対策として、毎回の授業内で『質問・要望アンケート』を実施しました。授業の疑問点や要望を確認し、早期解決を諮りました。内容によっては個別対応しました。今後も、受講生の質問、要望に迅速に対応し、効果的な授業となるよう努めていく所存です。（アンケート自由記述欄に改善を希望する点の記入はありませんでした。）</p>

情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>最初に、授業アンケートの集計結果「Ⅰ. あなた自身について」と「Ⅲ. 全体について」から「皆さん」について確認します。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」の各項目の平均値は「授業の欠席回数」が1.18回、「週あたりの予習復習時間」が1.05時間、「授業が理解できた割合」が75.5%でした。また、「Ⅲ. 全体について」の「11. 自身の成長を実感した」は、「とてもよくあてはまる」が36.4%、「どちらかといえばあてはまる」が51.5%でした。「とてもよくあてはまる」が少なめであった原因は、受講生35名中28名（80%）が1年生であったこと、欠席が多かったこと（3回以上欠席者が6名）などにありそうです。3回実施した小テストの結果にも同じ傾向がみられます。成長を実感した点について、回答者33名中13名の方から「パソコン操作技術・スピードや知識の向上」についてや「レポートを書くのが楽になった」、「実際に得た知識を活用できた」、「長文編集を通して、文章のきれいなまとめ方の理解を深められた」という記述がありました。これらの結果から、多くの皆さんが授業および事前事後学修に真摯に取り組む、自身の成長を実感したことが分かります。</p> <p>次に、「Ⅱ. この授業の内容と方法について」と「Ⅲ. 全体について」から「授業」について確認します。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」の各設問と、「Ⅲ. 全体について」の「15. 授業に満足したか」の総合満足度とのクロス集計結果表から求めた値で見えます。以下に示す値は「大変満足」または「どちらかといえば満足」と、「とてもよくあてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」の値を合計し、授業の満足度を合わせて求めたものです。</p> <p>設問順に、「授業の進むスピードは適切であったか？」が78.7%、「説明は分かりやすかったか？」が84.8%、「双方向授業等に工夫がされていたか？」が87.8%、「板書・パワーポイント・配布資料は分かりやすかったか？」が87.8%、「教員の声や言葉は聞き取りやすかったか？」が90.9%でした。ほぼすべての項目に及第点をいただくことができました。「授業の進むスピード」は私の課題でしたので、“行きつ戻りつ”を肝に銘じて授業を進めたつもりですが、多数を占める1年生にも分かりやすい導入が必要であったかもしれないと感じています。</p> <p>「18. 自由記述欄」には授業内で回答した内容以外の要望は特になく、“毎回の課題は大変でしたが、その分多く学べたので良かった…”、“簡単に文章を作ったり、表やグラフを作ったりと今まで大変に思っていたことも簡単にできると知り、ためになった。もっと詳しく学びたい”、“生徒が分からなければマンツーマンで教えてくださり、理解しやすかった”という記述がありました。最後の記述は、授業内や授業アンケートによる質問、メールによる質問のほかに、曜日時間教室指定で受け付けた個別質問についての感想でした。皆さんからいただいた言葉を糧に来年度も頑張りたいと思います。</p> <p>この科目の目標「情報リテラシー基礎1で学んだ内容の深い理解とブラッシュアップをする」をめざし、シラバスの【授業内容】をすべて終えることができました。授業アンケートと15回授業内アンケートの内容からも、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】」の基礎を修得する」という科目の到達目標も達成したと言えます。</p>
------------	--------	--

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
音楽の世界	瀬尾 文子	「説明のわかりやすさ」が⑤と④で74%、「総合的な満足度」も⑤と④で77%であり、授業の運営そのものには大きな問題は無かったように思う。その一方で、「週あたりの自習時間」は①の「なし」が43%と多く、「さらに専門的に学びたいか」で⑤を付けた人は16.2%（④と③で概ね7割）と少なかったことから、学生の知的好奇心を十分に掻き立てられたかについては反省点が残った。その点を工夫していきたい。
発達心理学 b	佐藤 恵美	この授業は10年ほど続きましたが、今年で終了ということでとても熱が入り、本当に楽しく講義をすることができました。同じ授業であっても10年前の講義とはトピックが常に変化したと思います。女性の生き方や子育ての仕方、私たちを取り巻く環境がここ10年で本当に変化し、かつ今後も大きく変化していく分野であることを実感できました。ただ一つ変わらなかったのが、学生さんの熱意です。本当に授業を真面目に、私語もなく、テストも頑張ってくれたと思います。本当にこの授業には感謝しております。今後この授業が皆さんのこれからの生き方に反映し、参考となってくれることを望みます。本当にありがとうございました。
教育学 b	今井 康晴	教育と一言で表しても様々な課題、事象が絡み合っています。15回という回数の中で、学生諸君の興味を引出し、さらに課題を乗り越えていけるような知識が汎用できたかと思えます。教育に興味関心を抱き、良き社会人となってください
女性と教育	広井 多鶴子, 久保 貴子	「学祖下田歌子について知ることができた」「女性として生きていく上でとてもためになった」「LGBTについて理解が深まった」などの感想が寄せられました。女性がどのような教育を受け、いま、女性の教育に関してどのような課題があるのかを理解するための授業ですので、ほぼ目的は達成されたのではないかと思います。とくにトランスジェンダーの方の講演は好評でした。今後もこうした機会をできるだけ設けたいと考えています。
教育史 b	今井 康晴	教育という視点で歴史を紐解き、歴史から見た教育の在り方について習熟できたかと思えます。今後、さらに興味を引き付けるような教材、方法を発掘します。
数学的思考	高橋 桂子, 角本 伸晃, 畑農 鋭矢	小中高校まで苦手だった%、割引、食塩水問題などが少しわかってくれたみたいで、良かったです。女子だから苦手ではなく、皆さんの世代は男子も女子もこの手の問題が苦手なようです。少しだけレジェを味わえたかな？解説が十分でない時はmanabaで解説をアップするよう、教員一同、心がけていきたいと思えます。建設的で貴重なコメント、ありがとうございました。高橋
情報リテラシー実践 a	栗津 俊二, 竹内 光悦, 松下 慶太	回答者も少ないため、参考程度になりますが、おおむね好意的な意見だったと感じます。本講義は次年度で終わりですが、何か改善点を考えていきたいと思えます。
フランス語 2 b	岡本 尚子	これまで学習したことをもとに、徐々に複雑な表現を身に付けることを目標に授業を行いました。少し難しくなってきましたが、全員積極的に授業に参加して、よい雰囲気で行うことができたと思えます。短期間で理解できないところも多くなってきたと思えますが、あきらめずに取り組んでいけば必ずわかるようになりますので、ぜひ今後も引き続きフランス語の学習を続けてください。
日本の文学 d	越後 敬子	井原西鶴の『好色五人女』を読解しました。毎時間コメントペーパーの提出を求めましたが、みなさんがそれぞれの興味に引きつけて、さまざまな感想や意見を寄せてくれました。それらの感想・意見をほかの学生さんに紹介することで、さらに各自の理解が深まった場面が多かったように思います。

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
グローバル・キャリアデザイン	深澤 晶久	<p>グローバルキャリアデザインを履修いただいた学生の皆さんへ</p> <p>今年は、初めて抽選をさせていただき、40名という多くのメンバーに受講いただきました。きめ細かくフォローできなかった点は、次年度への課題といたします。</p> <p>最後の授業で皆さんに議論していただいた次年度への課題ですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の発表の機会をさらに増やして欲しい。 ・席の移動を行い、他の学生との意見交換の時間を増やして欲しい。 ・学生のネームプレートがあると良い。 ・こんなにも多くのゲストのお話を聞けることは滅多にないなど、様々なご意見をいただきました。次年度に反映していきたいと思えます。 <p>主体性溢れる皆さんと、多くの社会人との交流は、今までにない熱いものが交わされていたと感じます。ゲストの方の失敗経験も聞きたかったとのご意見もあり、来年のゲスト招聘には、配慮したいと考えています。</p> <p>この授業で学ばれたこと、気づかれたことを生かして、いよいよスタートする就職活動には、堂々と臨まれることを期待しています。</p> <p>皆さんのご活躍を心から期待しています。</p> <p>深澤晶久</p>
基礎スポーツ実習 b	島崎 あかね	<p>施設の都合上、テニスをシラバス通りに実施することができませんでした。それに代わる卓球やレクリエーションゲームを通して他学科や他学年の人との協力し合うことができたと思います。スポーツの楽しさや奥深さ、アレンジ力などを他の教科や日常生活に生かしていきましょう。</p>
情報リテラシー応用 b	笠原 邦子	<p>「授業アンケート」の提出率があまりよくないので、15回目の授業でのアンケート（96%）を基にフィードバックします。</p> <p>初回の授業で説明したとおり、情報リテラシー基礎2（旧b）との差別化を考え、より実用的な機能を取り上げること、そして、LMSのない環境に対応するため共有フォルダを使い授業をすすめました。情報リテラシー基礎1（旧a）のみを受講している学生と、ほかの情報関連の選択クラスの履修や、課題等の作成にMS Officeを使ってきた学生との間には習得の度合いに差があると思ひ、全員が行う課題は基本的な内容で、余力のある学生のためにはチャレンジ課題を用意しました。</p> <p>結果、機能そのものの理解だけでなく、利活用することでより効率的に作業をすることができることを実感した学生（目標達成）もいる反面、作業で手いっぱい理解まで至らない学生もいたようです。特に受講前のExcelの習得度合いに差が大きいのが分かり、基本的な機能を理解するための時間を増やす必要を感じました。</p> <p>社会に出てもワード、エクセルやパワーポイントを使う機会は多いので、この授業で習得した技術を活かし、活躍することを祈っています。</p>
Extensive Reading	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thank you for your feedback and I will take all of your comments into consideration to improve this class for the future.</p>
スポーツ基礎科学実習 a	佐藤 健	<p>頑張りましたね。この授業は、今季でクローズとなります。</p>
Integrated English b	ブラック, ヨーガン	<p>Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results.</p>
Integrated English b	シュニッケル, ジェイコブ	<p>This course uses the 100 Topics book as its main text. For future classes, it would be beneficial to encourage students to use this book outside of class more. To encourage this, I would like to add a homework assignment that would have students track their usage of the exercises they do in the book as well as new vocabulary they encounter and their reactions to the material. At the end of the semester, students would have a complete record of everything they've done in the 100 Topics book.</p>

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
実践キャリアプランニング	深澤 晶久	<p>実践キャリアプランニングを受講いただいた学生の皆さんへ</p> <p>66人のメンバーとともに過ごした15コマ、皆さんとの一体感は、今までにないものでした。皆さんの真摯な授業への姿勢に感謝いたします。</p> <p>アンケートには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアを深く考えられた ・女性が働く環境について、今の社会を知ることが出来た。 ・丸山珈琲様とのコラボ講座がとても印象に残った。 ・グループワークが大変だったけれど、今は達成感を感じています。 ・将来、どうしていくかを考えるきっかけとなった <p>など概ね前向きなご意見を沢山いただきました。なかには、「大学の先生に対して、正直冷たいイメージが強かったのですが、深澤先生の授業は温かく、楽しんで受けることができました。さまざまなキャリアの方々のお話を聞けたこと、プレゼンを作成したことは、私の中でとてもタメになり、就活に対して億劫な気持ちだった私に「これから頑張ろう!」と思わせてくれる経験になりました。ありがとうございました。」というご意見もいただきました。</p> <p>本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。また、3年生の授業でお目にかかれることを楽しみにしています。</p> <p>いよいよ4月からは3年生、益々主体性を発揮されること期待しています。</p> <p>皆さんの“轍”が、しっかりと刻まれていくよう、心から期待しています。ありがとうございました。</p> <p>深澤晶久</p>
実践キャリアプランニング	植野 誠之	<p>アンケート記入ありがとうございます。いただいた意見をもとにさらに皆さんに分かりやすく、より双方向な授業になるよう工夫していきたいと思えます。日般企業を目指す人は、約半年後に就活が始まります。人手不足・売り手市場と言われる就活ですが、こういう時こそ本当に自分が何をやりたいか、自分にできることは何か、また何をやることに価値を感じるかを□つくりと考えることができるチャンスです。自分に合った様々な選択肢から選び抜き、着実に進んでください。■た、就活時期に何か相談したいことがあれば 遠慮なく声をかけてください。□</p>
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thank you for your course feedback. I appreciate your comments and will use them to improve my future classes.</p>
Integrated English b	シュニツケル, ジェイコブ	<p>This course uses the 100 Topics book as its main text. For future classes, it would be beneficial to encourage students to use this book outside of class more. To encourage this, I would like to add a homework assignment that would have students track their usage of the exercises they do in the book as well as new vocabulary they encounter and their reactions to the material. At the end of the semester, students would have a complete record of everything they've done in the 100 Topics book.</p>
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thank you for your comments and feedback, I really appreciate it. I will replan and continue trying to improve my classes based on your feedback.</p>
Integrated English b	シュニツケル, ジェイコブ	<p>This course uses the 100 Topics book as its main text. For future classes, it would be beneficial to encourage students to use this book outside of class more. To encourage this, I would like to add a homework assignment that would have students track their usage of the exercises they do in the book as well as new vocabulary they encounter and their reactions to the material. At the end of the semester, students would have a complete record of everything they've done in the 100 Topics book.</p>

[2019（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
実践キャリアプランニング	深澤 晶久	<p>実践キャリアプランニングを受講いただいた学生の皆さんへ</p> <p>100名の美学美術史学科の皆さんとの授業、月曜日の5限という環境、色々行き届かなかった部分が多かったこと、お詫びをいたします。</p> <p>しかし、皆さんは、本当に真摯な姿勢で授業を履修して下さいました。お疲れ様でした。</p> <p>アンケートには、特に後半のグループワークを通しての学びについてコメントされている学生さんが多かったと思います。「人を巻き込む思考力」これから求められる力であると考えます。</p> <p>いよいよ4月からは3年生、益々主体性を発揮され、ポジティブに大学生活を送られること期待しています。</p> <p>皆さんの“轍”が、しっかりと刻まれていくよう、心から期待しています。ありがとうございました。</p> <p>深澤晶久</p>
実践キャリアプランニング	植野 誠之	<p>アンケート記入ありがとうございます。いただいた意見をもとにさらに皆さんに分かりやすく、より双方向な授業になるよう工夫していきたいと思えます。日般企業を目指す人は、約半年後に就活が始まります。人手不足・売り手市場と言われる就活ですが、こういう時こそ本当に自分が何をやりたいか、自分にできることは何か、また何をやることに価値を感じるかを□□と考えることができるチャンスです。自分に合った様々な選択肢から選び抜き、着実に進んでください。■た、就活時期に何か相談したいことがあれば 遠慮なく声をかけてください。□</p>
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thank you for your course feedback and effort this past semester. I appreciate your comments and will use them to improve my future classes with new teaching materials and techniques.</p>
実践キャリアプランニング	植野 誠之	<p>アンケート記入ありがとうございます。いただいた意見をもとにさらに分かりやすく、より双方向な授業になるよう工夫していきたいと思えます。管理栄養士を目指す人の就活は、一般企業を目指す人よりスタートが遅めですが、今後の人生のいろいろな選択肢の中から自分に合った最適なものを選ぶよう、この時期、本当に自分が何をやりたいか、自分にできることは何か、また何をやることに価値を感じるかをじっくり考えてみて下さい。また、就活時期に何か相談したいことがあれば 遠慮なく声をかけてください。</p>
実践キャリアプランニング	植野 誠之	<p>アンケート記入ありがとうございます。いただいた意見をもとにさらに皆さんに分かりやすく、より双方向な授業になるよう工夫していきたいと思えます。日般企業を目指す人は、約半年後に就活が始まります。人手不足・売り手市場と言われる就活ですが、こういう時こそ本当に自分が何をやりたいか、自分にできることは何か、また何をやることに価値を感じるかを□□と考えることができるチャンスです。自分に合った様々な選択肢から選び抜き、着実に進んでください。■た、就活時期に何か相談したいことがあれば 遠慮なく声をかけてください。□</p>
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Thank you for your course feedback. I appreciate your comments and will use them to improve my future classes.</p>
実践キャリアプランニング	深澤 晶久	<p>実践キャリアプランニングを受講いただいた学生の皆さんへ</p> <p>過去最高の80人のメンバーでしたが、皆さんとの一体感は、今までにないものでした。皆さんの真摯な授業への姿勢に感謝いたします。</p> <p>アンケートには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアを深く考えられた ・就職活動を前向きに考えられるようになった ・グループワークが大変だったけれど気づきも多かった ・社会人基礎力が理解出来た <p>など概ね前向きなご意見を沢山いただきました。なかには、「とても参考になりました!今後も深澤先生の授業やイベントに参加していきたいです!」という声もいただきました。「深ゼミ」をはじめ、様々なイベントを準備していきます。</p> <p>本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。また、3年生の授業でお目にかかれることを楽しみにしています。</p> <p>いよいよ4月からは3年生、益々主体性を発揮されること期待しています。</p> <p>皆さんの“轍”が、しっかりと刻まれていくよう、心から期待しています。ありがとうございました。</p> <p>深澤晶久</p>

[2019 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Integrated English b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results.
Integrated English b	シュニツケル, ジェイコブ	This course uses the 100 Topics book as its main text. For future classes, it would be beneficial to encourage students to use this book outside of class more. To encourage this, I would like to add a homework assignment that would have students track their usage of the exercises they do in the book as well as new vocabulary they encounter and their reactions to the material. At the end of the semester, students would have a complete record of everything they've done in the 100 Topics book.
Integrated English b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results.
Integrated English b	シュニツケル, ジェイコブ	This course uses the 100 Topics book as its main text. For future classes, it would be beneficial to encourage students to use this book outside of class more. To encourage this, I would like to add a homework assignment that would have students track their usage of the exercises they do in the book as well as new vocabulary they encounter and their reactions to the material. At the end of the semester, students would have a complete record of everything they've done in the 100 Topics book.